

「々」という文字を簡単に入力したい

裏ワザではないが、意外に知られていないIMEの入力テクニックがあるので紹介しよう。

それは、記号を簡単に入力するというもの。下表をご覧ください。あなたは、表中の文字を普段どのように入力しているだろうか。例えば「々」という文字。もしや、「ひとびと」→「人々」と変換して、前半の「人」を消す—なんてことをしていないだろうか。「々」は「おなじ」と入力すれば一発で変換できる。

ほかにも、よく使われる割に戸惑いやすいものに、「…」（あまり、と入力）、「〃」（くりかえし、と入力）、「\」（ななめ、と入力）などがある。

なお、ほかの日本語入力ソフトでは通用しない場合もある。ご注意ください。

文字	読み	文字	読み
…	あまり	／＼	ななめ
々々	いごーる	～	による、から
々	おなじ	∴	ゆえに
〃	くりかえし	+-x+±=><≧≦√など	けいさん、ずうかく
+	だくてん	■□▲△●○★☆など	ずけい
∴	なぜならば		

Windows XP 標準の「IME Standard 2002」と、「Office 2003」付属の「IME Standard 2003」、それに「2007 Office System」付属の「Office IME 2007」について、特殊な文字を入力する方法を示した。「読み」を入力すると、該当する文字が入力できる。「々」は「おなじ」と入力すればよい。

「プロパティ」を表示するのに右クリックを使うなんて

ファイルの大きさを調べるなど、「プロパティ」を表示する場面は意外に多い。恐らく多くの方は、アイコンを右クリックして「プロパティ」を選ぶことで、実行しているはず。

プロパティを簡単に表示させる方法がある。[Alt] キーを押しながら、アイコンをダブルクリックする。最も手っ取り早い方法だ。



アイコンを [Alt] キーを押しながらダブルクリックするのが、通のテクニック。一発で「プロパティ」を表示できる。